

平成 24 年度 事業報告

平成 24 年度は、32 年ぶりの「いわてデスティネーションキャンペーン（いわて DC）」をはじめ、東北観光博や東北六魂祭などの各種イベントが展開され、東日本大震災津波や原発事故による痛手や風評被害を乗り越えようとする本県観光関連産業への大きな支援となったほか、名古屋線や福岡線、国際チャーター便等の航空路線の増便・再開や、被災した沿岸部の宿泊施設の営業再開など、観光客の誘客・受入体制が徐々に整い、観光分野においても復興元年といえる動きが見られた。

当協会としては、こうした動向と連動しながら、本県の観光の魅力を全国へ PR するため、旅行業者に対する誘致説明会の開催、各種イベント等への出展、ホームページの効果的な運用により積極的な情報発信を行ったほか、震災の影響で大きく落ち込んだ教育旅行の誘致拡大のため、北海道札幌市の公立中学校の全校訪問を再開するとともに、国際チャーター便の運航の拡大のため、台湾や韓国に出向いてのセールスを実施するなど、国内外からの観光客の増大を図ってきた。

また、事業実施に当たっては、県、市町村及び各観光協会並びに観光関係団体の実施する各種事業と密接に連携し、震災等の影響により落ち込んだ県内観光産業の復興に向けて、本県の魅力ある観光資源の宣伝と観光客の誘致拡大に取り組んだ。

I 【 情報発信 】

1 観光情報高度化推進事業

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」の管理運営を行い、各種祭りやイベント等をはじめ、桜の開花、紅葉やスキー場情報等をタイムリーに発信した。

また、「北三陸・北いわて特集」、「2012 夏岩手アウトドア&グルメ特集」などを作成し、誘客に努めた。

年 度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
アクセス件数 (対前年度比)	1,684,238 件 (2.6%増)	1,588,159 件 (5.7%減)	1,858,490 件 (17%増)

(2) 観光情報システム分担金事業

(社)日本観光振興協会のHP“全国旅そうだん”を利用して、本県の観光情報を発信した。

(3) いわて三陸観光情報発信強化事業

被災後の沿岸地域の復興状況等をいち早く伝え、元気な三陸をPRするため、「いわて三陸観光情報ポータルサイト」において情報発信を行った。

現地観光関係者が投稿できるシステムを作成し、沿岸の最新情報を投稿し、三陸への誘客を図った。

また、再開した観光施設等取材し、特集記事としてタイムリーに発信した。

2 パブリシティ有効活用事業

(1) パブリシティ有効活用事業

新聞等を活用し、本県の観光情報について近県を中心として全国に向けて発信した。

掲載年月日	掲載新聞・雑誌等名	発行部数等	内 容
H24. 4. 28	東北復興祈願！ぶらり平泉 世界遺産の旅	日本テレビ系 全国ネット	・平泉 ・わんこきょうだい
H24. 5. 28	ジパングツーリングバイク 放浪旅 Vol. 10	10 万部	・遠野、花巻
H24. 5	タウン情報誌 7 誌	249 千部（東北 6 県、栃木県）	・DCイベント ・祭り
H24. 6. 28	大人のクルマ旅	3 万部	・久慈、田野畑、宮古、 岩泉

H24. 7. 6	旅サライ 夏号	10 万部	・復興応援バス ・震災語り部 など
H24. 10. 4	Tokyo Weekender	5 万部	・八幡平、龍泉洞、 中尊寺、狛鼻溪など
H24. 10. 23	産経新聞（東北版）	10 万部	・「のびゆく秋の東北 6 県 特集」に、「世界遺産平泉 と県北部、沿岸部への旅」 を紹介
H25. 3	タウン情報誌 7 誌	249 千部（東北 6 県、栃木県）	・雪の回廊 ・桜情報

3 観光宣伝媒体作成事業

本県への観光客の誘致拡大を図るため「いわて旅地図」を作成した。

- ・ いわて旅地図 （作成部数 174,000 部）

4 観光キャラクター活用事業

岩手県の PR キャラクター“わんこきょうだい”のグッズを各種観光キャンペーン等において配布し、岩手県の観光イメージの PR を図った。

また、わんこきょうだいシール 6,394 個を販売したほか、わんこきょうだい携帯ストラップ 5,932 個をキャラクター毎にそれぞれ地域限定で販売し、岩手県内各地域への誘客を図った。

Ⅱ 【国内誘客対策】

1 観光客誘致促進事業

(1) 観光客誘致説明会

東京会場においては、首都圏の旅行商品造成・仕入れ等の担当者に対して、岩手県の魅力ある観光資源を紹介・宣伝するとともに、県内観光・宿泊施設、行政及び観光関係団体等との商談会を開催した。

仙台会場においては、当協会初の試みとして、エリアを北三陸と北いわてに絞り、出席者一同でご当地グルメ(まめぶ汁・岩手短角牛など)を食しながら、両地域の観光資源や「あまちゃん」などを紹介・宣伝するとともに、商談会を実施した。併せて、観光課が実施する「北三陸観光復興キャラバン」と連携し、仙台駅キャンペーン等(2/29～3/1)を行った。

会場	実施日	参加状況等
東京会場 中野サンプラザ	H24. 8. 29	旅行会社 (14社 27名) 岩手県側 (71名)
仙台会場 ホテルメトロポリタン仙台	H25. 3. 1	旅行会社 (6社 18名) 岩手県側 (22名)

(2) エージェント招待事業

	実施日	招待者	主な視察先等
第1回	H24. 7. 10～7. 12 (2泊3日)	(株) JTBグループ(北海道、メディアリテリング、中部、西日本)4名	陸前高田市～釜石市～宮古市～久慈市 ①被災地ガイド(陸前高田) ②おさかなセンター三陸 ③鉄の歴史館 ④浄土ヶ浜 ⑤被災地ガイド(田老) ⑥龍泉洞 ⑦やませ土風館 ⑧琥珀博物館 ⑨小袖海女センター
第2回	H25. 1. 27～1. 28 (1泊2日)	(株) JTB東北、(株) JTBガイヤレック 4名 ※いわて希望の宿ネットワークとの連携事業として実施	盛岡市～岩泉町～宮古市～釜石市～陸前高田市 ①岩洞湖レストハウス ②てどの蔵 ③たろちゃんハウス ④被災地ガイド(鵜住居) ⑤釜石大観音 ⑥大船渡復興かき小屋 ⑦陸前高田観光物産センター

2 教育旅行誘致促進事業

教育旅行の誘致拡大を図るため、主要なターゲットである北海道（札幌市、函館市）及び東京都並びに大阪府（岩手県県南広域振興局、盛岡広域振興局との共催）において説明会を開催したほか、札幌市の中学校キャラバン等の訪問活動を実施し、本県の教育旅行の受入態勢について紹介宣伝を行った。

また、本事業の効果的な推進を図るため、本県の観光情報や体験学習メニューを紹介する教育旅行用ガイドブック『体感！感動！ワクワクいわて』を作成した。

ア 教育旅行誘致説明会

＜岩手県修学旅行誘致説明会（主催事業）＞

開催地	実施日	参加状況
東京会場（中野サンプラザ）	H24. 8. 28	首都圏の旅行会社等の教育旅行担当者（6社16名）、岩手県側（57名）
函館会場（ロワジールホテル函館）	H24. 9. 11	函館市及び周辺の中学校の担当教諭及び旅行会社等の教育旅行担当者（5校6名、6社11名）岩手県側（60名）
札幌会場（ニューオータニイン札幌）	H24. 9. 12	札幌市及び周辺の中学校の担当教諭及び旅行会社等の教育旅行担当者等（23校32名、旅行会社6社15名）、岩手県側（61名）

＜岩手県教育旅行誘致説明会 IN 大阪（主催：岩手県県南広域振興局）＞

開催地	実施日	参加状況
大阪会場（大阪第一ホテル）	H24. 12. 19	大阪圏の高校等の学校関係者及び旅行会社等の教育旅行担当者（6校8名、8社20名）、岩手県側（55名）

イ 訪問活動

実施日	訪問先	訪問者
H24. 7. 31	北海道中学校長会会長	教育旅行誘致宣伝部会幹事長、事務局2名
〃	札幌市中学校長会会長	
H24. 8. 1	函館市中学校長会会長	
H24. 7. 31	札幌市立中学校（94校）	岩手県2名、教育旅行誘致宣伝部会幹事9名、部会員14名、事務局2名 計27名

ウ 体験メニューガイドブック作成

名称	作成部数
岩手教育旅行ガイドブック「体感！感動！ワクワクいわて」	2,000部

3 旅行商品造成事業

(1) 旅行商品造成事業

県外観光客の本県への誘致を促進するため、旅行会社等が行う旅行商品の造成などへの支援を行った。

(2) 広域連携観光推進事業

旅行商品造成事業と併せて実施した。

(商品数: 7 企画、送客実績: 265, 708 人泊)

団 体 名		企画名称	支援内容
パ ッ ケ ー ジ ツ ア ー 型	クラブツーリズム(株)	岩手復興支援・三陸の旅	広告掲載料
	(株) J T Bメディアリテーリング	旅物語 3 日間	広告掲載料
フ リ ー プ ラ ン 型	(株) 阪急交通社国内営業 3 課	つなぎ温泉ホテル紫苑 3 日間・八幡平ロイヤルホテルで過ごす 4 日間	広告掲載料
	トップツアー(株) 個人旅行営業部	「あっ とうほく」 「ほっ とうほく」	広告掲載料
着 地 型	久慈広域観光協議会	「女を磨く、男あげる」旬の旅先セミナー 北いわて教室	所要経費
w e b 広 告	楽天トラベル(株)	岩手県誘客プロモーション	web 特集作成費
	(株) 日本旅行 東北仕入販売センター	岩手県送客WEBキャンペーンふれる あじわう「イーハトーブいわて」	web 特集作成費

Ⅲ【受入態勢整備】

1 いわての観光サポート事業

(1) 「いわて観光おもてなしセンター」管理運営

協会内に「いわて観光おもてなしセンター」を設置して、手紙、電話及びメール等により寄せられる本県の観光に係る苦情、意見・提言等に対応した。

ア 苦情等対応状況

区分	件数	主な内容
意見	0件	
要望	0件	
苦情	3件	① 観光地で購入した団子について（メール） ② わんこきょうだいストラップ販売場所について（電話） ③ ひまわり畑について（メール）
計	3件	

イ 観光情報等問合せ状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
観光相談	2,234件	1,818件	1,848件
資料送付	1,660件	1,261件	1,465件
合計	3,894件	3,079件	3,313件

(2) 「V」案内所運営等観光情報提供事業

国際観光振興機構の指定（H16.3.26）を受けて当協会事務局内に設置している「V」案内所において、外国人旅行者に対して観光情報を提供するとともに、国内旅行者に対しても観光情報を提供するため嘱託職員1名を配置した。

	平成24年度
問合せ別件数	窓口：4件 電話：0件 FAX：0件 電子メール：81件
内容別件数 （重複あり）	イベント・個人旅行・観光一般：2件 印刷物：79件 交通：5件 宿泊：0件 食事：0件 娯楽：0件 生活、その他一般：2件

2 北東北観光センター運営

本県の観光情報の提供を行い、本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、JR盛岡駅2階の北東北観光センターの運営経費の一部を助成した。

（来訪状況等 次ページへ）

区 分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
来 訪 件 数	18,442 件	19,793 件	24,306 件
電 話 ・ 書 面	947 件	834 件	933 件
宿 泊 案 内	1,077 件	1,093 件	1,044 件

3 観光土産品改善事業

観光産業の振興に重要な役割を果たしている観光土産品の品質向上を図るため、第 53 回岩手県観光土産品推奨審査会を開催し、観光土産品の推奨を行った。

併せて、ホームページ「岩手県観光ポータルサイト“いわての旅”」に推奨品を紹介した。

- ・ 推奨審査会 平成 24 年 11 月 21 日（水）
- ・ 推奨期間 平成 25 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日（2 年間）
- ・ 推奨点数 48 点（申込点数 48 点）

4 ボランティアガイド育成事業

県内各地で活動する観光ボランティアガイドのガイド技術の向上とボランティアガイド団体相互のネットワーク化を目的に設立した「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」（事務局：（一社）遠野市観光協会、加入団体 24（支援・サポート団体 12））に支援を行った。

5 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、「いわて観光の日」において優良従事者表彰を行った。

- ・ 実施日 平成 24 年 5 月 16 日（水）
- ・ 会場 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
- ・ 被表彰者 7 名

《宿泊施設関係》 3 名

（順不同、敬称略）

推薦団体	所 属	氏 名
(社)花巻観光協会	花巻温泉(株) バラ園 園長	高 橋 宏
	ファインリゾート(株) 渡り温泉 宴会サービス部 接客課 主任	佐々木 み ね
洋野町観光協会	グリーンヒルおおの フロント係	大 西 理 恵

《交通機関関係》 3名

推薦団体	所 属	氏 名
(社)岩手県バス協会	東磐交通(株) バス運転手	千 葉 稔
	東磐交通(株) バス運転手	吉 田 信 夫
	岩手県北自動車(株) 観光バスガイド	伊 藤 彩

《その他》観光土産品店、観光協会、観光施設関係 1名

推薦団体	所 属	氏 名
大船渡市観光物産協会	岩手開発産業(株) 花巻支店長	三 条 義 照

6 「おもてなしの心」向上研修事業

観光客を迎える接遇の向上を図るため、「いわて観光おもてなしマイスター」のレベルアップ研修会を実施するとともに、宿泊・観光施設等の観光従事者や観光関係団体の職員等を対象とした研修会を実施した。

また、「いわて観光おもてなしマイスター」で運営する「いわて観光おもてなしマイスターの会」の研修事業に支援した。

ア いわて観光おもてなしマイスターレベルアップ研修会（接遇）

- ・ 実施日 平成24年12月13日（木）
- ・ 会 場 いわて県民情報交流センター（アイーナ）
- ・ 参加者 いわて観光おもてなしマイスター39名
- ・ 講 師 （株）リサーチュ 代表取締役 渡壁 ほづみ氏
- ・ 内 容 接遇の指導ポイント、電話対応、クレーム対応等

イ おもてなしの心向上研修会（接遇）

- ・ 実施日 平成24年12月14日（金）
- ・ 会 場 いわて県民情報交流センター（アイーナ）
- ・ 参加者 宿泊・観光・物産施設の従事者等98名
- ・ 講 師 （株）リサーチュ 代表取締役 渡壁 ほづみ氏
- ・ 内 容 接遇の基礎、電話対応等

ウ 「いわて観光おもてなしマイスターの会」への支援

① 実地研修会（観光知識）

- ・ 実施日 平成24年11月28日（水）
- ・ 参加者 いわて観光おもてなしマイスター31名
- ・ 視察先 遠野市総合防災センター、遠野ふるさと村、カップ淵、遠野市立博物館等

② 実践発表会

- ・ 実施日 平成25年3月26日（火）
- ・ 会場 盛岡市民文化ホール（小ホール）
- ・ 参加者 いわて観光おもてなしマイスター 24名
- ・ 内容 平成24年度の活動報告、今後の活動発表等

7 「観光の日」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦2000年を機に、5月16日を県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となる「いわて観光の日」と定めているが、この日を記念して講演会を開催し普及、啓発を図った。

ア 記念講演会

- ・ 実施日 平成24年5月16日（水）
- ・ 会場 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング
- ・ 出席者 90名
- ・ 講師 三陸鉄道(株)代表取締役社長 望月 正彦氏
- ・ 演題 よみがえる三陸鉄道

イ 新聞広告

- ・ 岩手日報 平成24年5月9日（水）3段1/2 フルカラー

IV【国際観光推進】

1 外国人観光客誘致宣伝事業

ア 東北プロモーション in 台湾 2012 への参加

(社) 日本観光振興協会東北支部等主催の「東北プロモーション in 台湾 2012」へ参加し、商談会、関係団体訪問等を行い、本県の観光宣伝を行った。

名 称	主 催	会期・会場	参加概要（岩手県）
東北プロモーション in 台湾 2012	(社) 日本観光振興協会東北支部、東北ブロック広域観光振興事業推進協議会、国土交通省東北運輸局	H24. 8. 20～23 高雄市 (ハワードプラザホテルカオシュン) 台中 (エバーグリーンローレルホテル) 台北 (シェラトン台北ホテル)	・(公財) 岩手県観光協会、ホテル森の風 鶯宿、(株) 岩手ホテル&リゾート、花巻温泉(株)、ホテル志戸平

イ 国際旅行博への出展

第 20 回台北国際旅行博 (ITF2012) に出展し、本県の観光宣伝を行った。

名 称	主 催	会期・会場	来場者数等	参加概要（岩手県）
第 20 回台北国際旅行博 (ITF2012)	(財) 台湾観光協会	H24. 10. 26 ～10. 29 (4 日間) 台北世界貿易センター	約 262, 590 人 60 カ国・地域 850 団体出展	・東北ブロック広域観光振興事業推進協議会 (参加：岩手県、(公財) 岩手県観光協会、花巻市、平泉町、花巻温泉(株)、(株) 岩手ホテル&リゾート、東北 6 県、東北観光推進機構、(社) 日本観光振興協会東北支部) ・ブース数：4 ・日本主催商談会に参加 (10/25) ・ブースでの観光相談 (10/26～10/29)

ウ 国際観光支援事業

台湾からの多大な支援への感謝、風評被害を払拭するための安全・安心PR及び今後のチャーター便誘致等、台湾と本県の観光交流の拡大を図るためのミッション団へ参加した。

- ・ H24. 5. 29～ 6. 1 知事を団長とする関係団体訪問及び観光セミナー
- ・ H24. 10. 25～10. 28 副知事を団長とする関係団体訪問及び ITF 会場等での誘致宣伝活動

2 外国人観光客受入態勢整備事業

(1) 国際チャーター便歓迎行事等

いわて花巻空港を離発着する国際チャーター便（台湾、韓国）運航に対応して、「花巻空港国際チャーター便歓迎実行委員会」で歓迎行事を実施した。

また、出入国審査等の手続きが円滑に行われるよう、毎回、通訳 2～7 名を配備した。

合 計	平成 22 年度		平成 23 年度		平成 24 年度	
	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数
	19 回	2,671 人	5 回	596 人	14 回	2,152 人
春季 (4～6 月)	6 回	909 人	- 回	- 人	5 回	751 人
夏季 (7～8 月)	- 回	- 人	1 回	215 人	- 回	- 人
秋季 (9～11 月)	7 回	1,054 人	2 回	299 人	7 回	1,146 人
冬季 (12～3 月)	6 回	708 人	2 回	82 人	2 回	255 人

(2) 「V」案内所運営（北東北観光センター）

JR盛岡駅 2 階に設置されている「V」案内所の運営経費の一部を助成した。

4 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営

北東北三県及び北海道が共同で設置した韓国ソウル事務所について、管理運営を実施した。また、韓国旅行会社等を対象に本県の観光資源を紹介宣伝し、誘客の促進を図った。

ア 北東北三県・北海道ソウル事務所観光商談会

	実施日	会 場 等	参 加 者 等	内 容
第 1 回	H24. 10. 10	ソウルプラザホテル (大韓民国ソウル市)	韓国側旅行関係者等 76 社 132 名 日本側企業 31 社 41 名	冬・春季の観光資源説明、観光パンフレットの配布
	H24. 10. 11	旅行エージェント等訪問	7 社	岩手県側訪問者 5 名

第2回	H25. 2. 19	ウェスティン朝鮮ホテル (大韓民国ソウル市)	韓国側旅行関係者等 68社 116名 日本側企業 40社 55名	春・夏季の観光資源の説明、観光パンフレットの配布
	H25. 2. 20	旅行エージェント等訪問	5社	岩手県側訪問者 5名

イ 観光招請事業

秋田県と連携してモニター（一般読者）、雑誌者を招請して、歴史・温泉・体験をテーマに本県の魅力を、女性雑誌「女性朝鮮」やHP等で広く情報発信した。

実施日	招請者	主な視察先等
H24. 12. 24～12. 27 (3泊4日)	モニター2名、マスコミ2名 合計4名	中尊寺、えさし藤原の郷、新鉛温泉、つなぎ温泉、紫波フルーツパーク

5 台湾観光関係者等招待事業

外国人観光客誘致の有力マーケットである台湾における秋・冬の花巻空港プログラムチャーターの復活等、岩手県への更なる誘客を図るため、知事をトップとしたミッション団によるセールスを実施し、その中で台湾の観光関係者等を招待したレセプションを実施した。

実施日	招待者	会場
H24. 5. 30	台湾政府関係者、航空会社関係者、旅行会社関係者、マスコミ関係者 32名	シェラトンホテル B2階 喜庁 (台北市)

6 タイ旅行エージェント等招待事業支援業務

東南アジアの有力マーケットであるタイにおける岩手県の知名度向上を図り、岩手県への更なる誘客を図った。

実施日	招待者	主な視察先等
H24. 6. 5～6. 6 (1泊2日)	タイ旅行会社及びマスコミ関係者 11名	浄土ヶ浜、遠野ふるさと村、中尊寺、花巻温泉

7 韓国ゴルフ新商品開発事業

県南部のゴルフ場を新たな観光資源とするため、韓国の旅行会社を招請し、ゴルフ等の旅行商品造成を図った。

実施日	招請者	主な視察先等
H24. 6. 30～7. 2 (2泊3日)	旅行会社5社5名、ソウル事務所1名	北上カントリークラブ、栗駒ゴルフ倶楽部、雫石ゴルフ場、中尊寺、げいび溪、えさし藤原の郷、小岩井農場

8 台湾旅行エージェント招請事業支援業務

外国人観光客誘致の有力マーケットである台湾における岩手県の知名度向上を図り、岩手県への更なる誘客を図った。

実施日	招待者	主な視察先等
H24. 7. 18～7. 19 (1泊2日)	旅行会社6名	八幡平市(トレッキング)、盛岡冷麺、小岩井農場、ホテル森の風

9 台湾等旅行エージェント・メディア招請事業支援業務

外国人観光客誘致の有力マーケットである台湾等における岩手県の知名度向上及び理解を深めるため、旅行代理店及びメディアを岩手県に招待し、更なる誘客を図った。

実施日	招待者	主な視察先等
H24. 9. 26～9. 28 (2泊3日)	旅行会社8名	久慈琥珀博物館、北山崎、震災プログラム、浄土ヶ浜、小岩井農場、花巻温泉、中尊寺
H24. 9. 29～9. 30 (1泊2日)	旅行会社10名	花巻温泉、釜石市防災センター、遠野農家体験
H24. 9. 30～10. 3 (3泊4日)	マスコミ1名	花巻温泉、毛越寺、中尊寺、猊鼻溪、鶯宿温泉、龍泉洞、田老学ぶ防災、浄土ヶ浜、小岩井農場

10 台湾旅行エージェント等招請事業支援業務

外国人観光客誘致の有力マーケットである台湾における岩手県の知名度向上を図り、岩手県への更なる誘客を図った。

実施日	招待者	主な視察先等
H25. 1. 29～2. 2 (4泊5日)	航空会社1名、旅行会社11名、マスコミ5名	安比高原、中尊寺、猊鼻溪、花巻温泉、浄土ヶ浜、羅賀荘、龍泉洞、岩洞湖、鶯宿温泉、小岩井農場

11 韓国スキー新商品開発事業

県南部のスキー場を新たな観光資源とするため、韓国の旅行会社を招請し、スキー等の旅行商品造成を図った。

実施日	招請者	主な視察先等
H25. 1. 26～1. 28 (2泊3日)	旅行会社4社4名、ソウル事務所1名	夏油高原スキー場、安比高原スキー場、花巻温泉、安比高原リゾート

12 韓国メディア招請事業

韓国の雑誌社を招請し、本県の現状や観光・食・物産等の魅力をPRすることにより、韓国からの旅行客数回復を図った。

実施日	招請者	主な視察先等
H25. 2. 4～2. 7 (3泊4日)	雑誌社1社2名	志戸平温泉、南部美人、四季の里、浄法寺塗、松川温泉、盛岡市内(材木町、紺屋町、もりおか歴史文化館等)、盛岡三大麺、桜顔酒造

13 訪日外国人誘客・受入研修会

訪日外国人旅行客の更なる誘客と受入態勢の整備を図るため、研修会を開催した。

実施日	講師	参加者
H25. 3. 21	日本政府観光局1名	県内インバウンド施設関係者等約30名

V 【 連携・支援 】

1 各種キャンペーン支援事業

(1) いわてデスティネーションキャンペーン推進事業

いわてデスティネーションキャンペーン推進協議会会費の支出やイベント等への対応を行った。

《主な対応状況》

実施日	場 所	イベント名等
H24. 5. 23 (水)	一関市他	「SLイーハトーブ岩手号」等試乗会対応
H24. 6. 24 (日)	花巻市 花巻市交流 会館	花巻BBフェア 2012
H25. 1. 18(金) ～1. 20(日)	東京都 東京ドーム	ふるさと祭り東京 2013

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

「いわてウインターリゾート協議会PR事業」支援及び「旅フェア日本 2012」への出展協賛等を行った。

(3) 各種キャンペーン支援事業

ア 広域観光キャンペーンの支援

広域観光推進団体が実施する首都圏等を対象とした広域観光キャンペーンを支援した。

《支援事業》

- ・ 陸中海岸国立公園協会観光PR事業

イ 観光関係催事への参加、出展

各種観光関係催事へ参加、出展し、本県観光情報を発信しPRを行った。

- ① 東京スカイツリー全国観光PR
(主催：I LOVE NIPPON 全国観光PRサポート事務局)
 - ・ 対応日 H24. 8. 12 (日) ～8. 19 (日)
(出展期間：H24. 8. 13 (月) ～8. 19 (日))
- ② 旅フェア日本 2012 (主催：(社) 日本観光振興協会)
 - ・ 対応日 H24. 11. 8 (木) ～11. 11 (日)
(出展期間：H24. 11. 9 (金) ～11. 11 (日))
- ③ 第 29 回大阪モーターサイクルショー (主催：近畿二輪車協会)
 - ・ 対応日 H25. 3. 14 (木) ～3. 18 (月)
(会期：H25. 3. 15 (金) ～3. 17 (日))
- ④ 第 40 回東京モーターサイクルショー
(主催：東京モーターサイクルショー協会)

- ・ 対応日 H25. 3. 21 (木) ～3. 25 (月)
(会期: H25. 3. 22 (金) ～3. 24 (日))
- ⑤ ハイウェイフェスタとうほく 2012
(主催: はいうえい人街ネット地域連絡会)
- ・ 対応日 H24. 9. 16(土)～9. 17(日)
- ・ 会 場 仙台市勾当台公園

ウ 後援、共催

「春の藤原まつり」(主催: (社)平泉観光協会) ほか、47 イベント等に対する後援・共催を行った。

2 県外事務所観光振興支援事業

東京、大阪、名古屋及び福岡の大都市圏において、本県への観光客の誘致を一層促進するため、岩手県の県外事務所が実施する誘致宣伝事業等を支援した。

県外事務所	事業実施内容
岩手県東京事務所	・ そばっち着ぐるみ修繕 ・ 日本観光振興協会賀詞交歓会負担金
岩手県大阪事務所	・ 観光PR用品(南部風鈴、盛岡冷麺、盛岡じゃじゃ麺、ストラップ)の購入
岩手県名古屋事務所	・ 旅まつり2013来場者用PR用品(南部型染コースター)の購入
岩手県福岡事務所	・ 旅情報誌「遊人」(秋号)の記事作成及び取材経費

3 (社)日本観光振興協会への拠出金

同協会に対して、全国広域観光振興事業拠出金を負担した。

4 東北観光推進機構事業

同機構に会員として参画し、東北広域観光の振興を図った。

5 北東北三県観光立県推進協議会事業

同協議会が企画・実施する事業に会員として参画し、広域観光の振興を図った。

6 観光宣伝事業等負担

(社)日本観光振興協会、岩手県空港利用促進協議会、みちのく五大雪まつり推進協議会、チャグチャグ馬コ保存会等の観光団体に対して負担金を支出した。

事業報告の附属明細書

公益財団法人岩手県観光協会の平成24年度事業報告において、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。